
幸せの小屋

よーり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せの小屋

【Nコード】

N9651Y

【作者名】

よーり

【あらすじ】

二つの大国に挟まれた大きな森、ノーレッジ大森林。中心には見上げてもてっぺんが見えない大樹があった。その大樹の麓、鬱蒼とした森の中にぽっかりと穴が開いたように見える広場があった。そこには小屋が建っていた。お世辞にもきれいとはいえないし玄関の前には書きなぐったような字で『幸せの小屋』と書かれていた。

プロローグ

こんにちは、あなたは人間ですか？

そうですか。それじゃ、残念。私は人間じゃないからあなたとはお友達になれません。

私ですか？私は人間の皆さんからヘーキと呼ばれています。

何でもあなたたち人間を殺すために生まれたものです。

だからあなた私の目の前に来たら・・・殺しちゃいますよ？

そうですか、じゃあさようなら。元気に生まれ変わってくださいね

あら、また新しい人ですね。あなたは人間ですか？

影、ですか。それなら私とお友達になれそうですね。

じゃあ影さん。私と一緒に何をしましょうか。

人を殺しますか？

八つ裂きにしますか？

それとも塵にしてもいいですか？

・・・なんで泣くんですか。私たちは今から人間を殺していくのでしょう？

だからなんで泣くんですか。うわあ、ちょっと何するんですか！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9651y/>

幸せの小屋

2011年11月28日23時49分発行